

文化財マップ

ふるさとの歴史を訪ねて



宇津薬師堂

編集 高根沢町教育委員会 生涯学習課
TEL 028-675-3175 / FAX 028-675-3173
Email: syougai3@town.takanezawa.tochigi.jp

発行 高根沢町教育委員会

令和6年3月発行

27 宇津薬師堂 (上高根沢・宇津救命丸)

町指定 第23号 有形文化財(建造物)
江戸時代末期・総檜・入母屋造・素木造・銅葺き
小児業の宇津救命丸(陶高根沢工場に隣接する宇津家の持仏堂。建物の様式、彫刻などから江戸時代末の建立とみられる。薬師瑠璃光如来を祀り、格天井には牧野牧陵筆の龍、薬草を主とした花々が描かれている。



28 獅子頭 (個人所有)

町指定 第24号 有形民俗文化財
元禄14(1701)・桐・顔幅、高さとも15~18cm
三匹獅子舞の三頭で、雄獅子2点、雌獅子1点。頭部の墨書に「元禄14年、那須藩に而買受」とあり、上高根沢村名主が家内安全の守り神として伝えた。



29 紙本淡彩 鷹図 (個人所有)

町指定 第25号 有形文化財(絵画)
明治時代・134cm×61cm
老松の梢にとまり辺りを威圧するような鷹の孤影で、筆線には牧陵の特徴がよく顕現している。牧陵最晩年の草体鷹図として、その資料価値は高い。



24 大谷高麗神社本殿

町指定 第20号 有形文化財(建造物)
江戸時代中期・一間社流造・銅板平葺き・覆屋あり
高麗(たかお)神社は多加於加美命(たかおかみつみこと)を祀る社で、大谷の祭礼は永正11(1514)年の由来と伝えられる。塩谷地方の神社本殿では古い時期に属する。



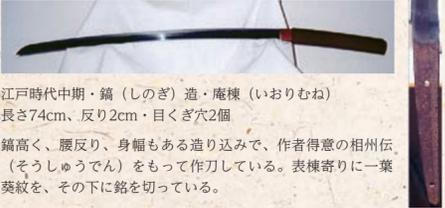
25 大谷薬師堂

町指定 第21号 有形文化財(建造物)
江戸時代中期・寄棟造・茅葺き
大谷の開場にあった正善寺(1631年創建、1871年廃寺)の現存する唯一の建物。装飾はほとんどなく、素朴な雰囲気。江戸時代中期の小規模な仏堂の特徴がよく表れている。現在は、茅葺き屋根の茅部分をトタンで覆っている。



26 御神刀・刀銘一葉菱紋(ひとつばあおいもん)

町指定 第22号 有形文化財(工芸品)
江戸時代中期・鑄(しのぎ)造・庵棟(いおりむね) 長さ74cm、反り2cm・目くぎ穴2個
鑄高く、腰反り、身幅もある造り込みで、作者得意の相州伝(そうしゅうでん)をもって作刀している。表棟寄りに一葉菱紋を、その下銘を切っている。



21 ひいらぎ (個人所有)

町指定 第17号 天然記念物
目通り周囲約2.4m・樹齢推定270年
農家の屋敷林に混植されたひいらぎの大木。樹高に準じる範囲に半球状の枝張りが見られる。ひいらぎはモクセイ科の常緑低木で、このような大木は県内では珍しい。11月中旬に芳香のある花をつける。



22 木造 菅原道真公坐像<高田運刻、運春作>(中阿久津満宮)

町指定 第18号 有形文化財(彫刻)
安政2(1855)・像高54cm
衣冠束帯、箱形の台座に胡坐する彩色の木像で、黒衣の前面に金泥で天満宮の紋章・梅鉢紋を描く。憤怒の表情の「怒り天神」である。胎内に制作年と仏師の墨書がある。祭礼は毎年3月第1土曜日に行われる。



23 宝積寺稲荷神社本殿 (宝積寺上)

町指定 第19号 有形文化財(建造物)
天保12(1841)・一間社流造・覆屋あり
縁を廻し、屋根は茅葺きだったものが現在は板葺きになっている。大工・万治郎他の墨書、木彫工・後藤梅秀の彫名がある。参道の孤像は安政5(1858)年の建立。



18 いとびば (上高根沢・浄蓮寺)

町指定 第14号 天然記念物
根回り3.8m・樹齢推定320年
境内の中央、本堂前に立つ古木で、垂直に伸びた基幹と無数の枝張りが円錐状の樹形をつくっている。浄蓮寺は嘉永5(1852)年に全焼し、のちに再建されたが、このいとびばは焼失前の植栽の風をとどめている。



19 くすの木 (個人所有)

町指定 第15号 天然記念物
根回り5.2m・樹齢推定220年
農家に維持されてきた屋敷林にある大木で、分岐した数本の太い幹が梢高くこんもりと茂った樹形をつくる。クスノキは暖地性の常緑高木で、県内では数少ない大木である。



20 木造 十一面観世音菩薩坐像<庄瀬宗運作>(個人所有)

町指定 第16号 有形文化財(彫刻)
延宝8(1680)・檜・寄木造・全高61cm
玉眼入りの坐像で個人の観音堂に安置されている。頭部に11面の化仏、胸に瓔珞(ようらく)を懸け左手に水瓶(すいびょう)を持つ。江戸初期の標準的な作風とされる。胎内に制作年と仏師名の墨書がある。



15 青銅鑄造 地藏菩薩半跏坐像<戸室持監、伊兵衛作>(上高根沢浄蓮寺)

町指定 第11号 有形文化財(彫刻)
安永2(1773)・像高195cm
右手に錫杖(しゃくじょう)、左手に宝珠(ほうじゆ)を持ち、左足を反花に懸けた半跏坐像。背面の銘文に上高根沢村名主以下、願主など45名の名前が陰刻されている。



16 題目板碑 (亀梨・妙福寺)

町指定 第12号 有形文化財(考古資料)
緑泥片岩
◎元永2(1303)・高さ130cm/
◎元徳2(1330)・106cm
2基とも那須烏山市福岡の同じ地点で発見、妙福寺に寄進された武蔵型板碑である。ともに同じ「南無妙法蓮華経」、両側に経典の章句を抜粋した偈(げ)の刻文がみられる。



17 木造 十一面観世音菩薩立像 外二体(大安寺)

町指定 第13号 有形文化財(彫刻)
平安時代末期・カヤ材・一木造・像高80~89cm
大安寺は、大同年間(9世紀初)に徳一大師が桑原鏡時(きやまのかがみ)の地に小堂を設け、十一面観世音菩薩、軍荼利明王(ぐんたりのあきらみ)、吉祥天(きぎょうてん)の3体の立像を奉ったことに由来するという。徳一(とくいち)と伝えられる3体は観音堂に安置されている。



7 花岡東天下天祭たな及びその行事

町指定 第3号 有形民俗文化財
江戸時代・木造二階造
天祭は旧暦7月、盆前に行う豊作と災難除けの行事。天棚の二階に十二天を祭って供物を奉納し、行者が祈願し、お囃子に合わせて掛け声とともに裸で天棚を回る。花岡、中阿久津、石末宿、石末原で行われてきた、現在では県内でもほとんど残っていない民俗行事。



12 宝積寺白鬚神社雅楽部

町指定 第7号 無形民俗文化財
白鬚神社の神事に際し奉納される雅楽は、白鬚神社・八坂神社の氏子有志(雅楽部)により伝承されてきた。創始は明治末年頃と推定され、農業後継者たちを通じて伝承されている。



9 宝積寺上組天王祭屋台及びその行事

町指定 第5号 有形民俗文化財
江戸時代末期(推定)・木造
八坂神社(白鬚神社に併礼)の天王祭は、旧暦6月15日~18日、神輿渡御(しんよとぎよ)に始まり鬼怒川に船屋台が繰り出す「船祭」と、上・中・下組の各彫刻屋台が勢ぞろいする屋台行列の「つけ祭」とにより行われてきた。昭和以降は新暦7月20日以降の土・日に前夜の屋台行列、当日の神輿渡御の例祭に変わっている。宝積寺の伝統行事として氏子結社が継承、往時の祭礼を今に伝えている。



13 双幹樺 (個人所有)

町指定 第9号 天然記念物
目通り周囲約4m・樹齢推定480年
高根沢市内では屋敷林や平地林、祠堂地などで樺の大木を見ることが多い。この双幹樺は屋敷林の北縁にある古木で、樹幹が中ほどから二本に分かれ、今も樹勢強く高々と枝葉を茂らせている。



5 上高根沢太々御神楽

町指定 第1号 無形民俗文化財
上高根沢住民が明治初年から継いできた神楽。豊作、村内の安全などを願い、安住神社、長宮稲荷神社(寺渡戸)の祭礼に奉納されている。演目は三十六座あり、地元の熱意で伝承されている。



1 台新田古墳 (飯室)

町指定 第1号 史跡
7世紀代・直径14~15m・円墳
喜連川丘陵の通称「辰街道」傍らの古墳群で、現存4基中の1基。昭和41(1966)年に発掘、町史跡に指定された。河原石積み石室で、玄室・女門・羨道からなり、全長412cm。平成23年の東日本大震災で石室がくずれしまったため、現在は石室は土で埋めてある。



4 高根沢城跡(上高根沢)

町指定 第4号 史跡
観応2(1351)
宝積寺台地の東縁で急崖に臨む平坦地に位置し、南限は芳賀町境となる。改田で壊滅、企業用地となり概容も不詳。高根沢兼吉の築城とされ、戦国時代末期には宇都宮氏の支城であったらしい。



2 桑久保(桑窪)城跡

町指定 第2号 史跡
建久年間(1190~99)
※現存する遺構は戦国時代
喜連川丘陵の支丘先端に立地する方形半郭の平山城である。築城は桑窪修理助秀春が谷口筑前守であると伝わる。歴代城主は在地の谷口氏で、戦国時代末期には宇都宮氏の支城となった。



6 木造 阿弥陀仏立像 (桑窪・徳明寺)

町指定 第2号 有形文化財(彫刻)
18世紀中頃・寄木造・像高82cm
玉眼入りの如来像で、本尊として本堂に安置されている。二代住持の奉納がさくろ市松山新田からの像など一光三尊を移したという。台座裏面に嘉永6(1853)年に豊州藤原種秀が修理した旨の墨書がある。



6 紙本淡彩 鷲図 (個人所有)

町指定 第441号 有形文化財(絵画)
明治時代・159cm×135cm
鉛色の空、打ち寄せる波浪、羽を逆立て鋭い眼光を放つ鷲の姿は豪放奇抜な構図である。自然の威力に屈しない鷲の孤高な姿は77歳の老境にあった牧陵自身の投影とも評される。



1 絹本着色 西園雅集図 (個人所有)

町指定 第235号 有形文化財(絵画)
江戸時代・186cm×86cm
「西園雅集」とは、宋の円通大師が当代の文人墨客を西園に招いて一日の清遊をした催しのこと。詩作や絵画に興じる大家たちの様子、園内の様々な木石などがのびやかに描かれている。



2 紙本淡彩 湖畔新緑図 (個人所有)

町指定 第236号 有形文化財(絵画)
江戸時代・122cm×37cm
春たけなわの柳の新芽、対岸の山々や遠くに霞んだ山を望む湖畔で、裏門を出ながら文人が景色を眺めている。小品ながら牧陵画中の秀作とされる。



3 紙本淡彩 名士揮毫図 (個人所有)

町指定 第237号 有形文化財(絵画)
江戸時代・159cm×126cm
多くの書家、画家が筆を振るう書画会の光景を描く。人々の賑わい、船が浮かぶ湖面や遠くの新緑などが活写され、牧陵の特色が十分に発揮された秀作とされる。



4 紙本墨画 山水図 (個人所有)

町指定 第238号 有形文化財(絵画)
江戸時代・161cm×90cm
岩壁や樹木、流水の表現は鋭く力強さがあり、雅趣豊かな画技が高く評価されている。雨林は絵画、彫刻、染焼なども得意としたが現存する作品は少ない。



30 おだきさん (上高根沢)

町指定 第26号 史跡

湧水池・36m×10m
 貧しく美しい娘「おだきさん」の入水伝説により地元民から愛護されてきた史跡である。清澄な池と水路には今もかつての田圃の姿が残されている。



31 ガラス乾板写真 (個人所有)

町指定 第27号 有形文化財(工芸品)

大正~昭和初期・ガラス乾板15枚
 大谷地区を中心に、写真愛好家が撮り続けた写真。農作業を軸に展開する日常生活の情景が鮮明に撮影されている。人馬、各種の行事、ハレの日の姿、今は失われた風景などの貴重な歴史記録である。



32 銅造 双身毘沙門天立像 (伏久・広林寺)

町指定 第28号 有形文化財(彫刻)

中世・像高11cm
 蠟型による一鎊の鍍金像で火を受けて黒色に変色している。2体の毘沙門天が背中合わせに合体しており、全国でもわずかな例しかない珍しい像である。



36 絵馬 算額図 <東江・絵> (花岡白鳥神社)

町指定 第32号 有形民俗文化財

明治時代・杉・82cm×119cm
 額面には関流の師匠2人の名が連記され、師匠と弟子の姿が描かれている。明治末の和算衰退期に奉納された。円理の問題は易しく啓蒙的で、花岡に關流和算の学風が実在し、多数の支持者がいたことがうかがえる。



37 木造 大日如来坐像 <看行堂法師・作> (個人所有)

町指定 第33号 有形文化財(彫刻)

承応3 (1654)・寄木造・像高37cm
 頭部に宝冠をいただき、体部には衲衣(のうえ)、偏衫(へんさん)、袴(く)を着ける。両手は腹前で右手を上にして禪定印を結び、右足を外にして結跏趺坐している。



38 上の原遺跡12号土坑出土一括遺物 (上高根沢)

町指定 第34号 有形文化財(考古資料)

縄文時代中期・21点
 上の原遺跡は昭和52(1977)年に発掘調査され、居住跡・土坑など多数の遺構と遺物が出土した。関東・北陸・東北の3つの地域的特徴を持つ土器が同時期に存在したことを立証する発見となった。



33 木造 十二神将立像 (飯室薬師堂)

町指定 第29号 有形文化財(彫刻)

元禄3(1690)・像高30cm
 十二神将は薬師如来に従い守護する夜叉で、憤怒の形相で甲冑を着けて、様々な武器を持つ。地元有力農民が薬師堂再興の寄進、造仏を行ったと墨書にある。



34 絵馬 四季農耕図 (飯室・星宮神社)

町指定 第30号 有形民俗文化財

明治時代・樟・69cm×109cm・扁額形式
 在郷の農夫が農業の繁栄を願って奉納。農作業の光景が描かれている。地租改正に伴う土地検査とみられる部分もあり土地制度の大きな変化を描いた貴重な資料である。



35 加茂神社梵天祭(桑彦)

町指定 第31号 無形民俗文化財

江戸時代後期頃からの五穀豊穡の祈願祭、雷を呼ぶ祭とも伝えられる。ご神体は女の神で、梵天は男根を表す。若衆が梵天を担ぎ、子孫繁栄を祈願し拝殿に何度も突き入れる奇祭。毎年3月第2日曜日に行われる。



39 上高根沢小学校の藤 (高根沢町)

町指定 第35号 天然記念物

根回り2.2m・樹齢推定100年
 枝が藤棚いっぱいになる花を上げ、5月には無数の紫の花雨がかかる。大正13(1924)年にご子息の卒業記念に赤羽吉次郎氏より寄贈され、この時すでに成木だった。卒業生や地域の人々によって大切に守られて育てられている。



40 大谷村文禄太閤検地帳 (個人所有)

町指定 第36号 有形文化財(古文書)

文禄4 (1595)・34cm×25cm
 豊田秀吉が家臣・浅野長政に命じて実施した「太閤検地」の大谷村の記録。土地の等級・面積・石高・名請人が連記されている。当時の下野国内の検地帳の原本はわずかしが残っており、貴重な資料である。



41 絵馬 酒造り図 (北越 森庄吉・絵) (大谷高麗神社)

町指定 第37号 有形民俗文化財

明治時代・杉・83cm×181cm
 扁額形式
 地元の酒造家主人が奉納した生業絵馬。寒仕込の酒造りの工程を8コマ連続で描く。120年以上の間、良好な状態で保存されており、町の明治期の地場産業を今に伝える。



高根沢町文化財マップ



42 銅造 十一面観音菩薩立像 (個人所有)

町指定 第38号 有形文化財(彫刻)

銅造 菩薩立像 (個人所有)
 町指定 第39号 有形文化財(彫刻)
 銅造 地藏菩薩坐像 (個人所有)
 町指定 第40号 有形文化財(彫刻)



45 会橋久保経塚遺跡経石及び古銭(宝積寺)

町指定 第41号 有形文化財(考古資料)

江戸時代中期 寛政5 (1793) 経石2,063点 古銭1点
 会橋久保経塚は平成29(2017)年に発掘調査され塚の下から四角錐状に積み上げられた墨書経石(川原石に法華経が墨で書かれていた)が2,063点及び古銭が1点出土した。



46 会橋久保経塚経碑 (個人所有)

町指定 第42号 有形文化財(考古資料)

江戸時代中期・砂岩の川原石・高さ100cm
 会橋久保経塚遺跡の経塚の頂上に立てられていた石碑。経碑の碑文の内容と2,063個の石経から江戸時代中期に宝積寺村で念仏供養や書写供養が行われていたことを示す貴重な資料である。



高根沢町歴史民俗資料館

町の文化財や町ゆかりの芸術作品などを展示しています。企画展・イベントの情報は資料館のサイトをご覧ください。

休館日：月曜日、祝祭日の翌日
 年末年始(12/28~1/4)
 開館時間：9時~17時
 入館料無料
 高根沢町石末1825番地
 (町民広場内)
 TEL：028-675-7117
 FAX：028-675-3173
 E-mail：syougai3@town.takanezawa.tochigi.jp



資料館のサイトへはこちらから↑
<http://www.town.takanezawa.tochigi.jp/life/learning/shisetsu/rekimi.html>

